

様式B

令和6年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立西脇幼稚園

教育目標

ゆめ	重点目標	具体的取組		取組の状況
「生き生きと主体的に生活する子どもを育てる」	豊かな環境の中で子どもの主体性を尊重する教師の援助について	豊かな環境	四季の変化や自然の美しさ、不思議さなどを感じられるような環境構成の工夫をする。	四季折々の身近な自然物を遊びに取り入れ、様々な事象に興味や関心をもてるようにしてきた。虫取りを楽しめるよう花を植えたり雑草を残したりし、子供たちが自然と触れ合えるような環境を大切にしてきた
			豊かな感性や心情を育み、子ども達の興味や関心が広がっていきけるような環境構成の工夫をする。	子供たちの興味や関心が広がるような遊具や用具を準備し、その配置も工夫してきた。これからも豊かな学びや子供たちの感動体験が生まれるように遊びの様子を見ながらその都度、見直し改善していきたい。
			身近な動植物に触れ合ったり、季節の野菜などを育てたりすることで豊かな体験活動ができるようにする。	ビオトープでは、子供たちは、生き物(メダカ・金魚・アメンボ等)に興味をもち、冬は氷が張ることに気付いたり冷たさを感じたりしながら、様々なことに関心をもつ環境となっている。新しく開拓した畑にも季節の野菜を栽培することが出来、保護者と一緒に収穫体験を行うことが出来た。
		主体性を育む	十分に遊びこめる時間や場所、物に配慮し、子ども達の自発的な遊びを生み出せるようにする。	自分で好きな遊びを見つけ、しっかりと遊び込める時間を確保し、考えたり、試したり、工夫したりする力が育めるように環境構成を行い、満足感や充実感が感じられるようにしてきた。
			子どもの思いや考えを大切に環境構成をしていくことでより意欲的に生活できるようにする。	教師が子供の主体性を尊重することに意識し、子供の思いや気持ちに寄り添う姿勢を大切にしながら保育してきた。子供たち同士も心通わせ、相手の気持ちに気付けるような思いやりの心が育まれているように感じる。
			子どもの姿を多面的に捉えていけるよう、教職員で話し合いより良い援助を考える。	全職員で西脇の子供たちを見る意識しており、連携を取りながら、一人一人の子供を多面的に捉え、その子らしさを大事し、よりより成長をつなげていけるように意識してきた。
		人とのつながり	小学校との交流を通して、小学校生活に期待をもったり、異年齢友達と関わったりする楽しさを味わえるようにする。	幼稚園、小学校とも子供たちから「見てもらいたい」「授業を見せてほしい」と、互いの子供たちが、関心や親しみをもって交流することが出来た。子供たちが主体的に交流していこうとする気持ちを今後も大切にしていきたい。
			散歩や園外保育を通して、地域の方との触れ合いを大切にする。	園庭から見える道路を地域の方が歩いていると、地域の方が話しかけてくれたり、子供たちから挨拶をしたりしている姿も見られる。自然な流れで地域の方と触れ合うことで、子供たちにとっていろいろな人に親しみをもつきっかけになっていると考える。
			園だよりクラスだより等を通して、子どもの様子を伝えることで園の思いや考えを広めていく。	遊びでの子供の成長や学び、育ちについて園だより、クラスだより、ホームページ等で知らせ、また保護者の方からは、家庭での様子を伝えてもらうなど、子供の育ちを共有し保育に活かせるようにしてきた。

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

評価アンケートより、多数の方が「子供たちが主体的に活動出来ていることに高い評価を得ている。」「やってみたい」と思えるような環境を作り、また育ててほしい子供像をしっかりとちながら保育に取り組んでいることを理解していただいている。自然に関われるような工夫においては他の項目に比べてやや低いので、四季を感じ、遊びに取り入れられる魅力的な環境に努めていく必要がある。今後も保護者と幼稚園の連携を大切に子供の成長を共有していきたいと考えている。また公立幼稚園の良さを地域にも積極的に発信していきたいと考えている。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

今年度は、子供の生活を尊重することにおいて、教職員も意識しながら保育を進めてきた。子供の育ちや変化を丁寧に把握しまた一人一人の子供の内面を理解しながら保育してきたことで、子供がのびのびと生活をし、自分の思いを出せるようになってきたように感じる。今後も子供達の心や行動を尊重した援助について研究し、子供の心に寄り添った保育を行っていききたいと思う。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

評価アンケートからも読み取れるように、子供たちが生き生きと生活している様子が伺うことが出来、安心している。園生活で、色々な体験をすることで、豊かな感性が育まれ、社会性も育ち、心身共に成長しているのことはとても幼児期では大切なことだと思う。西脇の子供たちは地域にも見守られ、少人数のメリットを活かして、一人一人を丁寧に育てていただいているように思う。また、園児減少を地域としても取り組んでいかなければならないと感じた。預かりや長休業中の体制ができればもっと園児も増えるのではないかとと思われる。